

むらいクリニック通信

＜CPAP療法のトラブルはこうして解決！＞
 CPAP療法と仲良く付き合うためには、トラブル疑問点をひとつ
 ひとつ解決していく姿勢が大切だと思います。
 毎月の面談の中での患者さんの声を集めてみました。

Q1★ CPAPからの空気が気になってなかなか眠れません。

CPAPは呼吸（吐く息）の時も空気を気道に送るため、息苦しさを感じる人もいます。治療に必要な圧力になるまでの時間を遅らせる機能（ラップ機能）がついているので、これを用いるといい場合もあります。

Q2★ 昼間の眠気が改善されません。このままCPAP治療を続けるべきですか？

毎日きちんとCPAPを使っていますか？
 空気漏れはありませんか？
 正しく使用していても眠い場合は、圧が適切でないことも考えられます。CPAP療法は眠気を改善するだけでなく、高血圧などの合併症の予防治療につながります。自己判断で治療を中止するのは危険です。

Q3★ 喉が渇きがちです。

口を開けて眠っていませんか？口を開いていると鼻から送った空気が口から抜けているため、喉が渇きます。口の開きを抑える「CHINストラップ」というバンドがあります。もっと簡単には、口にバンドイドを貼って眠る方法もあります。

Q4★ 圧に違和感があります。

CPAPには、患者さんの無呼吸を抑える適切な圧が設定されています。強すぎるかな？と思われた時は、まずマスクフィットングをチェックしましょう。空気漏れにより、必要以上の圧で違和感を感じることもあります。しかし、体調や体重の変化により必要な圧力に差が出ていることもあります。その際は、再度圧力設定の検査を行う必要があります。

Q5★ 鼻の通りが悪いのですが…

花粉症、アレルギー性鼻炎、風邪による鼻づまりなどはありませんか？薬でコントロールできるケースが多いです。鼻が詰まるとCPAPが使用しづらいです。鼻のコントロールは重要です。

先生に、
ご相談下さい

赤柴先生資料 引用



暦の上では秋ですが、まだまだ暑い日が続いています。朝夕は涼しく、日中は暑いというように、気温の変化が激しいため、風邪を引かれる方も多いようです。風邪を引くとCPAPも使いにくくなりますので、体調管理に気を付けて、食欲・読書・スポーツの秋を楽しんで下さい。

◆◆◆◆クリニックよりのお願い◆◆◆◆

CPAP使用の患者さんは土曜日や20日以降の受診は大変込み合い、待ち時間が長くなります。CPAPの使用状況に関係なく**月1回受診**してください。

月末に来院のない方は受診予定の確認のため、当院もしくは機器メーカーより連絡をする場合がありますので御承ください。

耳鼻咽喉科・アレルギー科
いびき・無呼吸検査治療室

〒503-0836
岐阜県大垣市大井2-44-2

Tel 0584-77-3838 Fax 0584-77-3839
 予約専用Tel 0584-47-9898
<http://www.murai-clinic.jp>

むらいクリニック



予約QR